

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

## 【製造者情報】

会社名 : Bona AB  
住所 : Box 210 74  
SE-200 21 MALMO, SWEDEN

電話番号 : +46-(0)40-38 55 00

## 【輸入者情報】

会社名 : 株式会社オカベ  
住所 : 〒939-1701 富山県南砺市遊部151-3  
責任者名 : 岡部 学 作成者 : 岡部 学  
電話番号 : 0763-52-4069 FAX番号 : 0763-52-4038  
作成 : 平成 21年 10月 31日

製品名 : **Bonaナチュラル2C硬化剤**

製品説明 種類 : 水性2液ウレタン塗料の硬化剤  
主な用途 : 屋内フローリングフロアの塗装

## 2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

危険な含有成分 :

成分名	CAS	重量%	特記事項
脂肪族ポリイソシアネート		50-75	EU分類 : R43 R52/53

※EU分類の詳細については、16.その他の情報を参照

## ・環境ホルモン疑惑物質

環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（65物質）を使用していない。

## ・P R T R法

非該当。

## 2. 危険有害性の要約

## 最重要危険性

人の健康に対する有害な影響

- ・蒸気、ミストを吸入すると健康障害を引き起こす恐れがある。
- ・燃えると黒煙を発生し、健康障害を引き起こす恐れがある。
- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・蒸気、ミストを吸入すると健康障害を引き起こす恐れがある。
- ・目に入るとひどい痛みを伴う。

- ・皮膚接触は感作性を引き起こす恐れがある。
- ・当該製品はイソシアネートを含んでいる。アレルギー性あるいは慢性、再発性喘息等、呼吸の疾病の履歴のある人は、暴露リスクを負ってはいけない。

## 環境への影響

- ・大量の場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

## 物理的及び科学的危険性

- ・燃焼域で着火する。

## 分類の名称（分類基準は日本方式）

- ・その他の有害物質

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のところへ移す。  
呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱いときは、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。意識はないが呼吸している場合、又は意識はあるが呼吸困難な場合は酸素吸入が有効である。  
医師の指導の下で行うことが望ましい。医師の指導なしに酸素以外の施薬をしたり、被災者に口から何も与えてはならない。  
直ちに医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 流水でよく洗い流す。衣類や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を石鹼等で洗浄して流水でよく洗い流す。何らかの異常を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。溶剤や塗料用薄め液は用いない。
- 目に入った場合 : できるだけまばたきせず、直ちに大量の流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、大量の水を飲ませる。無理に吐かせないで暖かいところに休ませ、直ちに医師の診断を受ける。
- その他 : 使用中、目に異常を感じたり、咳き込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、流眼、うがいをする。その後、直ちに医師の診断を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品安全データシートを持参する。

## 5. 火災時の措置：

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般用消火剤が使用できる。
- 消火方法 : 火災時、着火の可能性があるので周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。移動が出来ない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では保護具を着用する。

## 6. 漏出の措置

- 人体に対する注意事項 : 製品が直接人体に触れないよう、ゴム手袋、保護眼鏡等の保護具を着用した後、漏出量が多い場合には土のうなどで流出を防いだ上でポンプ等を用いて吸い取る。
- 環境に対する注意事項 : 本製品は水溶性であることから、本製品が雨水溝、河川、海上等に流出した場合には事実上処理が不可能となるため、下水道を除く公共水域への本製品の流出は絶対に避けること。
- 除去方法 : スクイジーなどを用いて、出来る限り空容器に回収する。漏出量が多い場合には土のうなどで流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。また少量の場合は、ウエス、モップ、吸着マット、砂等のできるだけ素早く吸い取った後、十分に水洗いすること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : ・用途以外には使用しない。  
・作業現場への作業関係者以外の立ち入りを禁止する。  
・作業エリアで喫煙や飲食は厳禁とする。  
・作業中、及び作業後は換気をよくすること。  
・保護眼鏡と帯電防止機能のある保護手袋、及び適切な帯電防止機能のある作業衣を必ず着用すること。  
・容器の栓を開けるときのや移し替える場合には、液をこぼしたり、飛び出さないよう慎重に行う。また容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。  
・蒸気やミストは極力吸い込まないこと。  
・使用後は手をよく洗い、クリームで手入れすること。またうがいを十分に行う。  
・誤飲の恐れのある飲料用の容器等には絶対に小分けしない。
- 保管 : ・直射日光、40℃以上、多湿、及び凍結の恐れのある場所を避けて、密閉して保管する。  
・密栓をして倒さないで保管する。  
・子ども手の届かないところに保管する。

## 8. 暴露防止措置

- 設備対策 : 必ず換気を良くして使用すること。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具 :
- 呼吸器用の保護具 : 通常的环境下では不要。ただし換気が不良な密閉空間で製品の蒸気濃度が高い場合は、適切な呼吸保護具を着用する。
- 手の保護具 : ゴム手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : スリッパ防止効果の高い安全靴や、帯電防止機能を有する長袖の適切な作業衣を着用する。

## 9. 製品の物理／化学的性質

### 物理的状态

外観 : 透明液体  
引火点 : 65℃ (クローズドカップ)  
比重 (20℃) : 1.09  
溶媒に対する溶解性 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱条件 (屋内、常温) においては安定である。  
反応性 : 通常の取扱条件においては、危険な反応を起こす恐れはない。  
避けるべき条件 : 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態  
避けるべき材料 : 酸化剤、強アルカリ性物質、強酸性物質を近づけない。  
アミンやアルコールによって制御しにくい発熱化学反応が起こる。  
この製品は二酸化炭素の分解によって水に溶けゆっくりと反応する。  
危険有害な分解生成物 : 火災時には、煙、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素化合物、水素シアン化物、アミン、アルコールのような有害分解変質成分が生成される。

## 11. 有害性情報

### 組成物質の有害性情報：脂肪族ポリイソシアネート

当該製品に含まれるイソシアネートの特性によって、呼吸器の暴露により、胸が苦しくなったり、喘息のような兆候があらわれて、呼吸器に急性の炎症や、もしくは感作性が起こる恐れがある。 敏感な人はイソシアネートの空気伝達によって喘息の兆候があらわれる。繰り返し暴露されると、恒久的な呼吸障害を導く。

急性毒性： 脂肪族ポリイソシアネート

LD50 Oral, Rat, >2,000mg/kg

吸入時： 吸入による感作症を引き起こす恐れがあり

摂取時：

摂取は通常、専従者の施工から発生する予測危険では無い。 衛生状態の良くない場合や汚損した着衣から、不注意によって少量摂取した場合、粘膜部に感作症を引き起こす恐れあり。

皮膚： 長期または反復的な皮膚接触は皮膚への感作症例、水疱、皮膚炎を引き起こす恐れあり。

アレルギー性皮膚反応の原因となる。皮膚接触によって感作症を引き起こす恐れ。

眼球： 眼球への不快感を引き起こす恐れあり。

健康上の注意事項：

喘息やアレルギーまたは慢性や再発したことがある呼吸疾患の病歴のある人は、イソシアネートに暴露されるリスクを負ってはならない。

侵入経路： 吸入。皮膚透過。摂取。皮膚及び眼球との接触。

医学的注意事項：

長期または反復的な皮膚あるいは粘膜接触は感作症例、水疱、皮膚炎を引き起こす恐れあり。これらの症状は時間を置いて発症することがある。

医学的考慮事項：

呼吸器の敏感な人を含む、当製品にさらされる全ての人々は健康診断を受けることを推奨する。アレルギーまたは慢性や再発したことがある呼吸疾患の病歴のある人が、当該製品を取り扱う場合は、必ず適切な医療監査の下にある場合に限られる。

製品に関する有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

## 1 2. 環境影響情報

\* 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水等が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性データ

物質名	種	期間	結果
脂肪族ポリイソシアネート	ミジンコ類 (EC50)	48時間	>100mg/L
	藻類 (EC50)	72時間	>100mg/L
	魚類(LC50)	96時間	>28.3mg/L

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 下水道以外河川等、公共水域への輩出は絶対に避ける。  
・一定容器にとりまとめ、廃棄物処理免許を持った処理業者に委託して処理する。

汚染容器、包装 : 使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。  
国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国内法規制 : 特になし

国際規制 : 国連番号

・なし

国連分類

・国連勧告の定義上危険物に該当しない。

特別の安全対策

・車両等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意事項やイエローカードを携帯させる。

- ・ 輸送前に容器が密閉されているか、又は液漏れがないか確認する。
- ・ 容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特にビン又は缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めておく。

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進法（P R T R法）	: 該当しない
労働安全衛生法	
通知対象物質	: 該当しない
表示物質	: 該当しない
有機溶剤中毒予防規則	: 該当しない
特定化学物質等障害予防規則	: 該当しない
消防法	: 該当しない
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: 該当しない
悪臭防止法	: 該当しない
水質汚濁防止法	: 該当しない

## 16. その他の情報

EU分類： 危険な調剤の分類、包装、表示に関する欧州議会及び欧州理事会指令  
(1999/45/EC)による分類

ハザードシンボル： 刺激性



リスクフレーズ： R43：皮膚接触により感作性を引き起こすおそれがある。

R52/53：水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作業を及ぼすおそれ

セーフティフレーズ： S2：子供の手の届かない場所に保管する。

S24：皮膚との接触を避ける。

S37：適切な手袋を着用の事。

S46：飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受ける

(できればラベルを見せる)。

S60：この材料と容器は、有害廃棄物として処分すること。

含有成分：脂肪族ポリイソシアネート

その他の警告：イソシアネートを含有する。

## 主な参考文献

- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE） 公表データ

- ・ 社団法人日本塗料工業会 GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕
- ・ 社団法人日本塗料工業会 モデルMSDS・モデルラベル事例集[混合物(塗料用)]
- ・ 国際化学物質安全カード（ICSC）

【 注意 】

本データシートの記載内容は、最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、また、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

混合物に使用している化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには最新の注意が必要です。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。